

第 99 号
〈2020.4.15〉

てし手

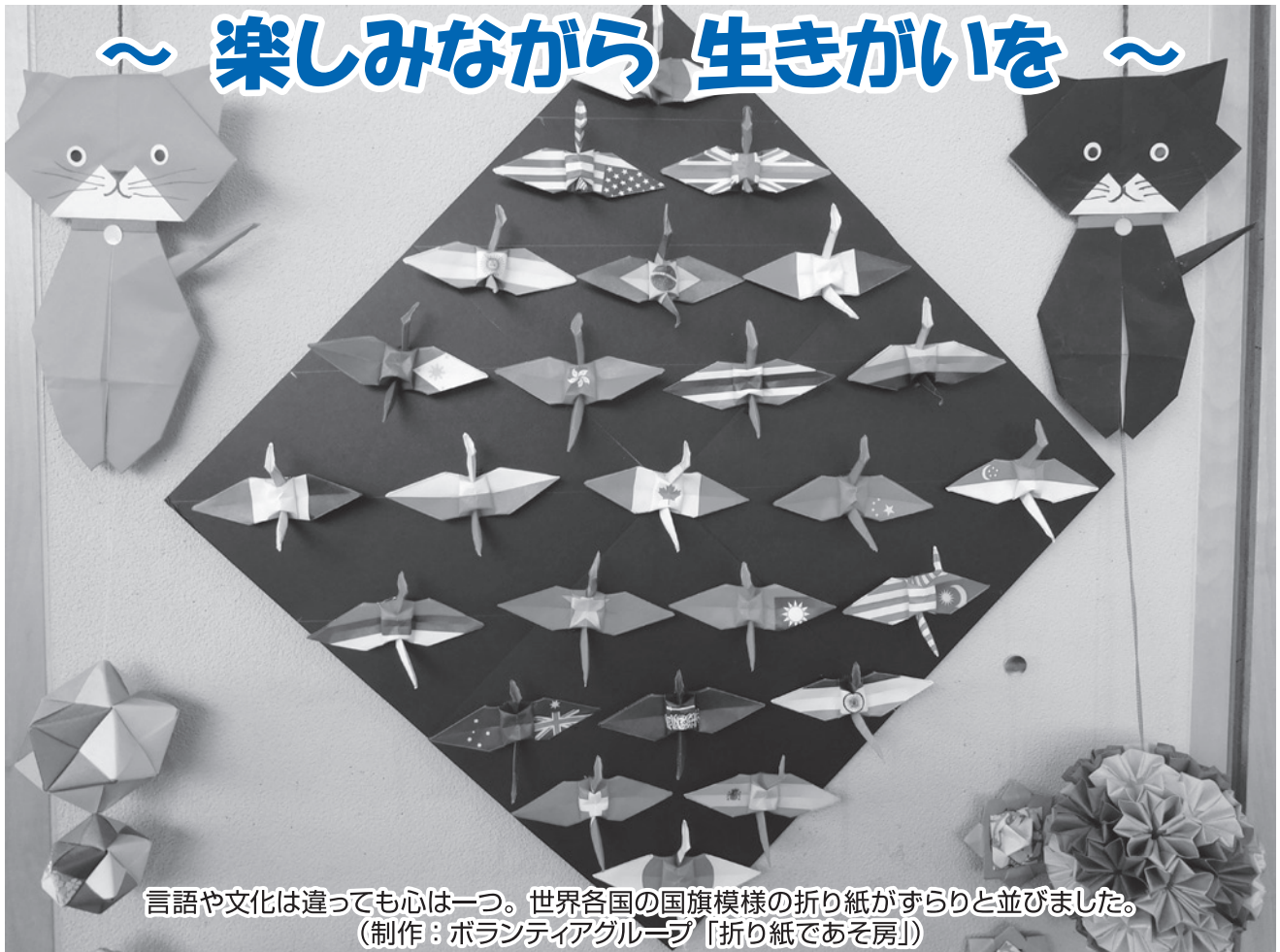
みんなのボランティア情報紙

発行
社会福祉法人 四街道市社会福祉協議会
四街道市ボランティアセンター

〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡無番地
総合福祉センター3階
TEL 043(422)2945
直通 043(421)6300
FAX 043(422)2807

次号は7月15日発行

みんなで参加 ボランティア ～ 楽しみながら 生きがいを ～



言語や文化は違っても心は一つ。世界各国の国旗模様の折り紙がすらりと並びました。
(制作：ボランティアグループ「折り紙であそ房」)

ボランティアセンターには、小学生から80歳代までの方々がボランティア登録をしています。現在は70歳代の方が半数以上を占め、活動の主力となっています。

皆さんのボランティア活動は、若いころから親しんでいた遊びや特技を活かして活動したり、同じ趣味の仲間とともに楽しみながら活動したり様々です。

ただ共通しているのは、「いつまでも人のために、自分のために、ボランティア活動をしたい」という気持ちです。

今回は、そんな気持ちを大切にしているボランティアの皆さんが、楽しみながら、生きがいを感じながら活動している様子をご紹介します。

2月18日(火)わろっべの里で行われた「折り紙であそ房」の定例会を訪問しました。毎月2回、第1・第3火曜日、わろっべの里創作のスタジオではきれいな色紙が広がり、細やかに折り込まれていきます。

会員数は24名で、わろっべの里での定例活動の他に「特別養護老人ホームあさひ園」「介護複合施設きわみ」「八木原サロン」「八木原寺子屋学級」などで活動しています。時には市外の施設から依頼が来ることもあるそうです。

取材当日は18名の会員の皆さんがテーブルごとに、3種類のモチーフから作るものを選び、その折り図をもとに制作スタートです。ベテラン会員が中心となって教え合い、作品が次々と折りあがっていきます。

モチーフ選びでは季節の物がよく選ばれ、バラや桜の花、お雛様や端午の節句の兜などが人気のようです。教室の外でもたくさん作品が随所に展示されており、施設内を明るく楽しい雰囲気にしていました。

代表の尾崎さんは、「折り紙を通して施設のお年寄りや子どもたちなどたくさんの人と交流することで、楽しく活動しています」と仰っていました。

(編集委員)



私たち「折り紙であそ房」のサークルは、わろっべの里が開かれるのと同時に、折り紙好きの人が集まり発足しました。この会を立ち上げた吉川先生は、数年前にお亡くなりになりました。現在は講師不在で、日本折り紙協会から毎月送られてくる「月間折り紙」の本の中から、その月にやりたいものを決めて折り紙作りをしています。

折り紙の魅力は、カラフルな折り紙を使って易しいものから複雑なものまでいろいろな物が作れる楽しさです。

年に一度のわろっべ祭りでは、グループごとの大作やそれぞれ得意な作品を持ち寄り美しく展示し、また折り紙教室も行っていきます。

興味がある方は一度見学に来てください。

(代表 尾崎)

例に漏れず我が地区も高齢化が進んでいます。住み慣れたこの町で、いつまでも明るく健康に暮らしたいという思いから、支え合いとサロンの二つの活動母体が自治会の中に作られました。

活動を始めてから二年が経ちました。支え合いの会からは「困ったときの福祉保存版」と銘打って、市内の福祉関連の連絡先冊子を全戸に配布し、大変好評を博しています。

サロン名は「幸にサロン」と書きますが、これをさちが丘2丁目とかけて「さちにさろん」と読みます。サロンは高齢者を対象に、市推奨の『週いち貯金体操』から活動を始めましたが、最近では歌や口腔体操・脳トレ、さらには茶話会へと広がりを見せてきています。今後は、子ども



から大人まで世代を超えて、更に住みよい地域へと向けて活動の幅を広げていくつもりです。
経験豊かで活発な女性委員のリードで、いつも笑顔と笑い声の絶えない明るく楽しいサロンになりました。支え合いの活動もきつとこの中から培われてくると期待されます。まさに『女子力に乾杯!』です。
(いきいき暮らし実行委員会 大山)



2月13日(木)、四街道市レクリエーション協会(以下四レク)は中央小学校の体育館で「あそびの城」を開催しました。授業が終わった体育館に児童の歓声が響きます。

「あそびの城」は平成15年文部科学省から(公財)日本レクリエーション協会に対して、放課後の子ども

対策の一環として、全国展開を依頼されたことから始まった委託事業です。四レクにおいても平成16年から、わろうべの里でスタートしました。

その後四街道市教育委員会、四街道市中央小学校の協力を得て、同校の体育館や校庭を使って活動、更に平成19年以降は文部科学省・千葉県・四街道市の委託事業「放課後こども教室」として、中央小学校の体育館または校庭で開催しています。活動は毎月第2・第3木曜日の午後。内容は「つくってあそぶ」と「レク・スポーツ体験」で、伝承あそび・ゲーム・歌・ニュースポーツ等「あそび」を通して子どもの居場所・大人の居場所をつくります。

こうして、世代を超えた交流ができると同時に、学年の異なる子どもが一緒になって遊ぶことで、小さい子を思いやる気持ちなどの社会性も育まれます。

当日参加した児童は、1・2年生主体に3年生まで。ボランティアは四レク会員を主体に、介護福祉士を目指す専門学校生の皆さんです。

参加する児童達は、下校時間の3時になると体育館に直行します。そして、体育館に入るや否や、奥のランドセル置き場に向かって走ります。

この日の「あそび」のプログラムは「ゴムだんあそび」と「フラバール」。「ゴムだんあそび」は、床から少し浮かせて張った2本のゴム紐に足をかけたり、踏んだりジャンプしたりする遊びです。

てゆくゲームですが、ボールが変形なので、弾んでどちらへ飛んでゆくのかわからない面白さがあります。

活動終了の4時半まで、わずかな休憩時間を挟んだだけで、子ども達は元気いっぱい遊びました。ボランティアの皆さんも子ども達から元気をもらって笑顔いっぱいでした。

(編集委員)

人々は皆「ふるさと」を持ちます。

縁があって、四街道に住まいを構えた私たちは、ここ四街道にふるさと

意識を持てるようにと、平成18年に発足したのが「ふるさと四街道の歴史学習会」です。発足当時14名のメンバーでスタートした会は、今や70名を超える会員へと大きくなりました。「ふるさと」意識を持つと賛同した人たちが、多くいることなのでしょう。

毎月第3木曜日を例会日として、四街道市内の史跡探訪と、暑さ寒さの厳しい2月・7月・8月は「座学」を主として学んでいます。9月には「バスによる探訪会」を催行し、県内や近県への史跡探訪を楽しみます。会員以外のご参加も大歓迎ですが、入会して年間千五百円の会費をご負担いただき、仲間と一緒に「ふるさと」を学び楽しんで頂ければと思います。

連絡先

和田 090(2673)7810



御成街道筋神社のご神木

お知らせ

1 ボランティアやったる Day !

ボランティア活動相談

ボランティアセンターに登録している団体の活動の様子をコーディネーターが紹介します。一緒にご自身に合った活動を見つけます。お気軽にお越しください。

日 時：4月28日(火) 10:00 ~ 11:00
7月22日(水) 14:00 ~ 15:00

場 所：総合福祉センター3階 ボランティアセンター
問合せ：四街道市ボランティアセンター
043-421-6300

*以上の日時以外も随時ボランティア相談を受けています。

2 「ピース・サークル」第10章

音楽を交えて平和を呼びかけるつどいー

3月30日(月)に予定していましたが、新型コロナウイルスの影響を鑑みて5月31日(日)に開催いたします。ご来場をお待ちしています。

日 時：5月31日(日)13:30 ~ 16:30
(受付13:00 ~)

場 所：南部総合福祉センターわろうべの里
内 容：第1部 音楽コーナー「平和への祈り」
音楽ボランティアによる発表
第2部 シンポジウム「平和の作り方」

参加費：無料 定 員：100名

主 催：Tea for two

問合せ：代表 伊佐 勉 080-1074-3126

報告

第23回四街道市ボランティアのつどい ~わくわく ドキドキ 若返り~ 2月1日(土)

天候に恵まれ、157名の参加を得ました。オープニングの千葉敬愛高校ダンス部のリズムのつたキレッキレのダンスから講演に続きました。講師の漫画家 さとう有作さんの昭和レトロなお話しは自分の青春時代を思い出して気持ちが若返りました。午後の懇親会は口腔ケア体操やみんなで唄いましょう! に始まり、YSGGバンドの演奏で歌ったり踊ったり、最後のクイズ問題で脳を動かしたお陰で脳も若くなりました。明日からのボランティア活動に元気をいただいた会でした。



移送ボランティア養成講座 2月9日(日)

毎年2回開催しています。今回は4名の方が受講しました。受講後は、先輩の移送ボランティアが運転する車での同乗研修を経て活動しています。運転が好きな方、不足している移送ボランティア活動に参加を希望して下さった方々ありがとうございました。次回は、6月に同講座を予定していますので、皆様のご参加をお待ちしています。

点訳ボランティア養成講座 1月10日(金)~

講座には14名の受講生が参加しました。学生時代のように辞書を引き、「これは助詞、助動詞、動詞かどうか・・・」等判断して、6点で文字を表す作業です。なお、四街道市は視覚障がい者に関する施設(県立千葉盲学校、千葉県視覚障害者福祉会館、視覚障害者総合支援センターちば千葉点字図書館)が多くあり、目の不自由な方々に携わるボランティア活動も活発です。

新型コロナウイルス感染予防のため3月から中断。



編集後記
初めまして、96号から新しく編集委員をさせていただきます。障がい者支援施設に勤務しております。今後は、四街道市のボランティア活動は、実際に活動していると伺っています。編集に携わりましたが、実際に活動内容の豊富さに驚いて、登録者数や活動内容でも余暇や衣類分け、傾聴など多くの方のご協力をいただいております。福祉施設で働いていざ、感謝するばかりです。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。

お市のきざり
願いのボラ100号を
いたラン00号を
たティアを迎え
しアの発展と
た展と活躍に
いたご協力
たします。

お市のきざり
願いのボラ100号を
いたラン00号を
たティアを迎え
しアの発展と
た展と活躍に
いたご協力
たします。

ボランティア募集

1 有料老人ホーム 四街道四季平安の杜

(鷹の台3-3-23)

入居者の方々とお話し相手をしてくださる方
日 時：月～土曜日 時間は応相談
問合せ：小比類巻 043-309-5266

2 四街道ケアセンター そよ風(物井1596-4)

入浴後のドライヤーかけをしてくださる方
お茶出しのお手伝いをしてくださる方
日 時：月～土曜日 9:30～12:00

歌、踊り、手芸等施設訪問してくださる方
傾聴ボランティアに来てくださる方
日 時：ともに月～土曜日 14:00～15:00
問合せ：深澤 043-304-7411

3 千葉県視覚障害者福祉協会(四街道1-9-3)

視覚障害者にIT機器の使用法を説明したり、相談を受けてくださる方3名
日 時：5月13日(水) 13:00～16:30
(毎月第2水曜日に開催しています)

PCやスマートフォン、タブレットの操作が得意な方、ITサポートをしてくださる方
日 時：応相談
場 所：5階 会議室
問合せ：御園 043-424-2501

4 特別養護老人ホーム あすみの丘(大日1623-1)

入浴後のドライヤーかけをしてくださる方
日 時：月～土曜日 9:30～、13:30～ 応相談

歌、体操などの指導や一緒に交流してくださる方
日 時：14:00～15:00 曜日は応相談

書道を指導してくださる方
日 時：第2月曜日以外 14:00～15:00
問合せ：大沼 043-421-5188

5 特別養護老人ホーム あさひ園(山梨1488-1)

入浴後のドライヤーかけをしてくださる方
日 時：月～土曜日 9:30～12:00
14:30～16:00 応相談
問合せ：長谷川 043-432-6382

6 下志津病院(鹿渡934-5)

入浴後のドライヤーかけをしてくださる方
日 時：年間を通じて *応相談
場 所：各病棟

小学生・中学生との運動遊びをしてくださる方。
時間がある時のみの参加でもかまいません。
*大学生以上の方をお願いしています。
日 時：木曜日 16:00～17:00
場 所：四街道特別支援学校体育館

個別活動ボランティア
パソコン支援、麻雀(経験者なお可)、ゲーム、話し相手等、患者さんの希望に応じて個別に関わってくださる方
日 時：年間を通じて *応相談
場 所：各病棟

園芸ボランティア
病棟周辺の花壇の手入れ等をしてくださる方
日 時：年間を通じて *応相談
場 所：重症心身障害病棟

* ~ の共通事項
・食事なし ・交通費なし ・駐車場代無料
・活動方法は職員から説明させていただきますのでお気軽にご相談ください。
・問合せ：療育指導室 高原 043-422-2511

7 会員募集!

「ガイドヘルプグループ 四街道友愛の会」

利用会員：目の不自由な方(障害者手帳の有無を問いません)
支援会員：利用会員と交流、視覚障害者の誘導をするボランティア
会の目的：視覚障害者とボランティアとの交流、視覚障害者の誘導をするボランティアの養成等、視覚障害者の福祉の向上を目的にする。
活動日時：毎月第1金曜日 13:30～
活動場所：福祉センター3階ボランティア活動室他
入会金及び会費は不要
問合せ：菱沼リーダー 043-421-3886
伊佐コーディネーター 043-424-5351
Eメール：osamu1956sumio220@docomo.ne.jp

毎号、「てと手」に掲載後、多数のボランティア希望のご連絡をいただき、とても感謝しております。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。

